

川風

しらいしみほ

戸無しそば屋

今回の九州の旅のベスト3は？との問いにもあまたの問いに答えまざわ店は答えません。迷うことなく堂々1位にあげたのが「戸無しのそば屋」ご主人和夫さんと「再会」です。

この出会いは風地蔵を立ち上げる前でした。それから16年も前のこととです。

大垣でエステ専門店をOPENして3年目。売りが若いスタッフが育たない。

人を育てるってことの難しさを痛感し、りおんが小学校に上がるまえ熊本にもどろうかと思案していたときでした。

年末を黒川温泉へ戻る・大垣

いや、このときは大垣へ行くとき使う言葉をあえて使ってた日、

熊本空港の書店でみつけた

熊日新聞出版の「黒川温泉急成長を読む」を

飛行機の中で一気に読んだのです。

そこで登場するのが、戸無しのそば屋のご主人元、黒川温泉老舗

ます。

戸無しのそば屋のセンスあふれる佇まい。あたしのこの世界だ！が渦巻く世界です。

意を決し、あたしはだつて地に足をつけるぞ！すぐ熊本に舞い戻るならぬ。また同じ事繰り返す！

大垣に残り、りおんをしっかりと育てるんだと思いつく。思い、「風地蔵」の構想をもつて

ふたたび黒川の戸無しのそば屋の話を聞きに行ったのです。

このタイミングで、イラストレーター坂口芳枝さんともお話をし、お話をします。

このお二人が今この風地蔵を押し上げる背中を押し

旅館のご主人です。黒川温泉ブームの火付け役の原和夫さん。小笠

内容をくいつくように読みながら、ええ〜〜〜っ！！

さつき行ったそば屋の人なの〜！と驚いてからの

おつきあいとなり

それから九州に帰る度に九州にたり、おんとふたりだつたり、スタッフを連れて慰安旅行だったり

お二人に会いに行くようになりま

あれから16年が経ちました。

今、計算機で計算して、え〜もう16年〜！！と驚きです。

そしていま、戸無しのそば屋を縮小した和夫さん。

落ち込むどころか「いらん物がそり落とされました」と相変わらず目に炎を燃やしながら今までの中で一番熱く話をする戸無しのそば屋のご主人です。

夫さんの顔をずっとと横で見ていると、目の玉の中に小さな炎が見えるんです！と興奮した程です。

なんかあたしもNHKのドキュメントを撮っている人になつたかのよう気がして、二人が聞くのはもつたいない。この話と情熱を発信して覚に陥ります。

あたしとかまざわさんだけで聞いても良いのかと思うほど大きな影響を全国各地の温泉に与えた

一人の男の人生の話です。

壁には2年前の各首相との写真。写真の中の首相達から送られた書と手紙。

それに高倉健さんの手紙。細川さんの手紙にはまた高倉さんの話をしました。と書かれています。

いますべてをそぎ落とした男の元へ、そうそうたる人物がやってくるのがわたしにはわかり

さん。遅かったけれど、やつと今原点に戻れた気がするのだとおっしゃいます。

翌日、お二人の顔を見たとき、涙が出そうになりました。おっしゃってくださ

わたしたちも、満席にならなければ、もつと話がしたかったです。

壮絶な人生のほんの少しに触れる事が出来て幸せです。

どんなに偉業をなした、身分やことの大きさではなく、人をしっかりと見据えて向き合われる姿勢と

少しも冷めていないと、ずんずん響く時間でした。

過去の栄光よりも、辛い今日でも、今この瞬間が一番尊い大事なときだと感じました。

またすぐに会いに行きます。次はスタッフ全員で。

秋のまちゼミ

原 由里子

今年の春にも行われた「まちゼミ」の受講生募集が、大垣の広報に載っていました。

けれど、今回は見るのが少し遅れたので、「良いな」と思うまちゼミはすでに満員になっていました。しようがないので諦めて、あとは休みと重なる講座をスケジュール帳を交互に睨むように確認です。

今回は5つの講座を申し込みました。1、OKB大垣共立銀行本店の「マイナス金利に負けない資産運用」。春のまちゼミと同じ内容でした。あとの4つは初めての参加です。

2、お好み焼き不二家駅前店の「災害時に役立つ小麦粉を使った料理！」。

3、高木時計舗の「はじめての機械式腕時計ほか」。

4、大垣さし源の「婚約食事会、」結納式、ダンドリセミナーほか」。

5、金蝶園総本家の「お菓子の作法いろいろ」です。

まずは、9月17日の午前中に1時間行われたお好み焼き不二家駅前店に参加してきました。場所は分かっている

ので大丈夫と思っていたのですが、お店の前を通り過ぎて大垣駅まで行ってしま

い、戻るというタイムロスをしてしまいました。お店に着いたときは、時間ぎりぎりでした。お店の方も、講座の参加者と気づいたようで、外まで出て来て声をかけてくれました。すいません。

昔ここはケーキ屋さんだったと、一緒に参加した方から教えてもらいました。中に入ると、東から西に伸びた感じの店内で、テーブルの中央は鉄板になって

います。一つのテーブルに余裕がありません。ブルに余裕がありません。状態は、4人座れるようになってい

る席が、5〜6席。カウンターのあったような、無いような。忘れました。

壁には、かなり昔に来たと思う、中日ドラゴンズの当時の何人かの選手のサインが飾ってありました。この店主は女性で、明るくて気さくな感じの話しかけやすい方です。どうやら一人だけ来る様子がないので、4人参加で講座が始まりました。

「災害時に役立つ小麦粉を使った料理」ですが、ようは小麦粉を水でかき混ぜて、焼けた鉄板の上に広げる。そこに冷蔵庫

に残っている食材をのせて焼き、ソースなどある物で味をつけて、火が通ったら食べるということでした。

あとは、すでに用意されていたダシも入った鍋に、水で混ぜた小麦粉をスプーンに入れていき、すいとんをつくりました。

朝食をしつかり食べてきた私は、食べ終わる頃にはおなか

がパンパンです。おかげで昼食は必要なくなりまし

の時の話や、大垣の昔話がぼんぼん出て来て、初めて知る話ばかりでした。

大垣北高の近くにある、青年の家。昔、太平洋工業の社長の一人息子さんを交通事故で亡くし、他の子ども達の成長を祈って、寄付をしたという

こともまさか知ることはないとは思いますが、この講座は、オーブン前に行われたよう

で、11時を過ぎたくらいに、「ゆっくりして行って下さいね」と店主から声をかけられました。と、帰りの際にアンケートを渡されて書

かないといけません。大垣市から助成金がもらえる関係のようです。

アンケートも書き終わり、店を出たあとも一緒に参加した女性の方に声をかけられて、しばらくは話をしていました。

今回の講座は、学ぶと言うより参加者とワイワイと楽しむという感じで、こういう講座も良いかもと思いました。次は、高木時計舗の「はじめての機械式腕時計」の講座です。

知春花

素敵な言葉。その名の通り春を知る花。人それぞれ。

桃だったり、梅だったり、桜だったり。

じぶんの知春花は「利休梅」桜の咲く少し前に、清楚な白い花が咲く。

郵便ポストの横に植えてある。朝新聞を取りに行くと、「今日から春ですよ」と教えてくれる。

庭師 奥田良樹